

ま な び や

目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.21 2009年6月30日発行 発行人 関野祐二
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校 電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804
URL: <http://www.seikei-seminary.org/> E-mail: covenant-seminary@nifty.com

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。しばらくごぶさたしているうちに、季節はめぐりめぐって梅雨のさなか。不安定な天候ゆえ、クラス終了後に置き傘をお貸しする機会も増えました。梅雨明けの頃には神学校も夏休み入り、そして初日22日は、国内で46年ぶりに見られる皆既日食本番！ ここ目黒でも75%欠ける部分日食を、屋上にて堪能する予定です。トカラ列島や上海で見られる素晴らしい皆既食に思いを馳せながら...
「昼を治める太陽を造られた方に。その恵みはとこしえまで」(詩136:8)

校長 関野祐二

● ついに聖契も若返りか！？

お祈りいただいた4月からの入学者は、正規生4名、聴講から正規生への編入5名、聴講生5名、計14名が与えられ(目標15名をほぼクリア)、昨年度と同じ64名で新年度をスタートしました。今年度特筆すべきは、入学者の平均年齢が若いことでしょうか。20代もかなりいます。そのせいか、雰囲気もいぶし銀から青春真っ盛り(?)へとシフトしたような。先輩(年配)の兄姉も、そんな若い面々を温かく迎え、時には若さにあおられ、いい味を出しています。

クラスは、新任Y先生による神学英語の19名を筆頭に(いやしかシゴキかは未知)、ヘブル語と教会史が16名、旧約通論が14名など、大型クラスが多く、火曜や木曜昼に机を教室間で移動するのが習慣に。大型が大味にならぬよう、教師一同がんばってますよ。担当する新約通論は12名、解釈学も11名なので、採点がタイヘン。赤ボールペンも初代は軸が折れて二代目に。

設備面では、ぴかぴかの下駄箱(古風な言い方ですが)3台購入(72人分)や、消防法で義務化された火災報知器の居住全室設置など(レポートやクイズ対策で火を吹く寮生は検知せず)。

五月連休は遠い昔、夏休み入りまでにけっこうあるこの時期は、不順な天候と相まって神学生には一番きつい日々。どうか無事に乗り切って、宿題豊富な充実した夏休みを迎えてくださいね。

● 新型インフルエンザ対策

5月に国内でも猛威を振るった新型インフルエンザ。当初、大阪での対応に合わせ、東京都内で感染者が確認されたら学校(本校のような専修学校・各種学校も含む)はすべて休校になるとの憶測が流れ、心配そうな在校生たち(口元がゆるんでいる人も)が情報の錯綜で迷うことなきよう、休校連絡の方法を含めた方針を運営委員会で決定。東京都庁や目黒区から連日何枚も文書が届く中、都内最初の感染者が目黒区に出たとのニュースに、一時は臨時休校も覚悟しました。並行して、出来上がったばかりの在校生名簿をもとにメールアドレスを入力し(4月からのY新事務員が大活躍)、テストメールを事務所から一斉送信(メールのない方は電話連絡)。有名歌手のチケット予約さながらに、数秒で返信メールが届き始めたのには感動しました。

その後の展開と終息はご存知の通りですが、秋には第二波が確実視されていますし、できるだけ
の備えをしたいと考えております。いや、インフルエンザの前に都議会選挙や衆議院選挙の暴
風、はたまた期末テストや期末レポートの嵐が中目黒五丁目界隈を吹き荒れるかな。

● ソフトボールは無念の雨、しかし

もと野球部の新入生を擁し、万全の体制、いや選手集めに奔走した学生会役員の涙ぐましい努
力もむなしく、今年の神学校親善ソフトボール大会は、当日朝になって、前日の大雨によるグラ
ウンドコンディション不良のため中止となりました。わざわざ職場を休んで早朝に駆けつけた選
手は不意打ちをくらって急遽職場へ。前日の日曜夜から泊まり込みで備えたM先生も拍子抜けし、
ゲストルームに丸一日こもったあげく、ソフトボールスタイルに無理矢理ネクタイをしてチャペ
ル説教講壇に登場。教会史中間試験を一週間延ばしたのに残念（クラス学生の本音は？）でした。
後日送られてきた当日のグラウンド写真はまるで海。これで学生会一同、あきらめがつかました。

他方、晴れ続きだったのは今年度開講の専門科「霊性の神学」クラス野外礼拝。土曜午前に抱
き合わせの新約通論クラスが教師の都合で二度休講になった際、徒歩20分ほどの所にある林試
の森公園にクラス全員（といっても教師含め四名）で出かけ、森の中にて黙想とチャペル説教を
した（らしい）のです。平均年齢が六☆歳という円熟クラスですが、体力の心配をよそに、公園
に居合わせた方々をも巻き込んで大いに盛り上がったそうですよ。野外説教未経験者があと一人
残っているので、もう一回新約を休講にしてください、と圧力がかかる今日この頃です。

● ゲスト多し、水漏れ多し

どういうわけか（いえ、深い主のご摂理ゆえに）、この4月から現在まで、例年になく多くのゲ
ストが神学校を訪れ、チャペルタイムの御用をしてくださっています。4月下旬の教団キャンプ
場マネージャーによる施設紹介に始まり、5月と7月（予定）は超教派団体の主事、5月～9月
には、計4名の日本人宣教師が来校しました（します）。在校生や教師のチャペル担当もすばら
しいのですが（多少手前味噌）、ゲストによるチャペルは新鮮な風が吹き込むような爽やかさと迫力
があり、学生たちの評判も上々。将来に備える皆さんに、良きチャレンジとなるよう祈っていま
す。おかげでパワーポイント用のプロジェクター需要が高まり、先日の理事会にて補正予算を決
議。IT化立ち後れ気味の本校にもようやくとなりました（プロジェクター、スライドイタナリナリ）。

ゲストと何の関係もないのですが、水漏れが多いのも困ったもの。2階男子寮トイレから1階
チャペル天井に二回（上水と流し台排水漏れなのでご心配なく）あり、一度はゲストを招いたチ
ャペルタイムのさなか、座席に水たまりがあるのをユダヤジョークのI先生が発見して通報、バ
ケツを置く顛末に。女子寮トイレ近くの、忘れられた流し台から教員室への水漏れもありました
っけ。さて、次はどこから漏れるかな、と秘かに楽しみとなってきた、不謹慎な管理者です。

● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 在校生64名の前期学びが支えられるように。後期10月からの新規聴講生が多く与え
られるように。10月15日より毎週木曜午後開講のセミナー「ファミリーミニストリ
ーI」（担当：杉本玲子師）受講者が豊かに与えられ、祝福された学びの場となるように。
- ・ 神学校の動きが守られ、キリスト教界における使命を全うできるように。教職員15名、
運営委員3名、理事5名の動きが支えられるように。多くの支援者が備えられるように。